

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11280

市民文化まつり開催交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	市民文化まつり開催交付金事業		

事業種別	継続			関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令				関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	本市の文化振興及び市民の情操教育に寄与する。		各種文化団体による舞台芸術の発表及び一般市民への芸術鑑賞の場を提供する。 和歌山城ホールほかにおいて、年間21事業（舞踊・合唱・民謡・オペラ等）を開催する。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		和歌山市民会館を中心に通年開催（6事業） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催（実施事業16） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催（実施事業18） （新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業中止）	和歌山城ホールを中心に通年開催。参加団体21団体	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	900	350	950	697	950	800	950	0	0	0
伸び率（%）	0%	25%	5.6%	99.1%	0%	14.8%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	3,957	4,189	3,504	3,192	3,300	3,300	6,443	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,957	4,189	3,504	3,192	3,300	3,300	6,443	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	900	350	950	697	950	800	950	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.51	0.54	0.45	0.41	0.42	0.42	0.82	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 900千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
実施事業数	事業	目標値	21	21	21	21	
		実績値	6	16	18		
		達成度(%)	28.5%	76.2%	%	%	%
参加人数	人	目標値	3,500	2,500	3,500	3,500	
		実績値	743	1,464	2061		
		達成度(%)	21.2%	58.6%	%	%	%
延べ入場者数	人	目標値	15,000	10,000	15,000	15,000	
		実績値	2,330	4,390	8210		
		達成度(%)	15.5%	43.6%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昭和55年から始まった事業であり、和歌山市における総合的な文化イベントとして定着している。 ここ数年は新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止していたが、令和4年度は16事業、令和5年度は18事業と元の水準に戻りつつあり、安定した開催を目指す。
見直し・改善内容	市民文化まつり実行委員会とのさらなる連携に努め、各種の舞台芸術について、創造力や演技力を高めるとともに、市民に広く鑑賞の場を提供できるよう図る。